

目黒労協 2024春闘闘争ニュース

No.24-04 2024年2月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



久しぶり、飲食伴う旗開き開催！

新春の1月12日(金)、目黒労協「2024年団結・旗開き」を、土建目黒会館で開催し、30名を超える組合員・ご来賓のみなさんが参加されました。コロナ禍で飲食を伴う集会在自粛となり、4年ぶりの制限なし旗開きとなりました。会場には土建目黒支部より提供の、立派な門松も設置、ウエルカムドリンクと、輪投げゲームで開会を待ちました。

オープニングゲーム「輪投げ」



輪投げルール「3回投げで合計得点競う」方式で実施。しかしこれがなかなか難しく、参加者みんなな四苦八苦。優勝者には表彰状を授与しました。



開会・来賓ごあいさつ・「乾杯」

東京土建目黒支部の若手組合員による司会で開会。東京地評よりの来賓あいさつのあと、旗開き実行委員長のあいさつと「乾杯」で飲食&歓談が開始。東京地評以外の来賓団体は、大田区労協、国民救援会目黒支部、渋谷共同法律事務所、共産党区議団より参加いただきました。

新春に詩吟

参加のみなさんからご挨拶をいただきましたが、労協の旗開きでは珍しく、組合員さんの一芸披露も。長く詩吟をやられている、土建・組合員さんによる詩吟のご披露も。日ごろの練習の成果を、十分に発揮いただきました。

*旗開き開始前に、能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福を祈念し、参加者全員で黙とうを捧げました。



能登半島地震で被災された方々に 心からお見舞い申し上げます

新年早々に、震度7の巨大地震が能登半島一帯を襲い、200人を超える方々が亡くなり、さらに多くの方々が各地に避難をしなければならない状況にあります。救助や支援に多くの方々が現地に向っていますが、私たちがすぐに取り組める支援はカンパです。目黒労協では、12日の旗開きを中心に、急遽カンパに取り組み、計17,915円の協力を受け、さらに年末カンパよりこちらに上乘せし合計49,500円、東京地評を通じ、被災地にお届けしました。引き続き、私たちにできる支援を検討したいと思います。【目黒労協執行委員会】

参加各労組から今年の抱負発表



めぐろユニオン



パスコ労働組合



目黒区職員労働組合

会にご来賓を含め、全ての参加組合よりの発言も。それぞれの組合より、組合の状況や今年の活動抱負などが報告されました。

今年の「景品争奪ジャンケン大会」には、ファンヒーターなどの豪華景品のご提供もいただき、参加者ほぼ全員に景品を持って返っていただきました。

労協議長の閉会挨拶とのあとは、南部合唱団と参加者全員が輪になって、「団結頑張ろう」を合唱。24春闘の勝利をみんなで誓い合いました。



土建目黒支部は9人が参加！



南部合唱団と一緒に「団結頑張ろう」



最後は団結ガンバロー！

目黒労協 新春宣伝in中目黒

1月19日(金)午後5時半から、目黒労協の新春宣伝行動を中目黒駅前前で実施。組合員10人の参加で、ティッシュ入りチラシ約300枚を配布しました。24春闘は、マスコミ報道もある通りすでに始まっており、「連合が過去最高の要求」や「経団連も大幅賃上げを容認」などいわれていますが、やはり大事なものは労働組合の要求と団結ではないでしょうか。物価高騰を上回る大幅賃上げを実現させるため、職場や地域でしっかり団結し、ストライキも辞さない姿勢で、会社に要求しましょう！



加盟労組・地域の取組み

東京土建目黒支部 旗開き

1月20日(土)に東京土建目黒支部の旗開きが、目黒雅叙園で開催されました。コロナ禍を除き、飲食を伴う開催ができたことは、誠に喜ばしいことですが、元旦から能登半島地震の発災に、驚きと悲しみの淵につき落されました。被災地の一刻も早い復興を、心から願わずにられません。

建設業の働き方改革、適切な賃金水準の確保、労働環境の処遇改善が喫緊の課題で、全建設総連とともに「100万人署名」を推進しています。建設業界では毎年、労働力不足に悩まされていますが、「建設キャリアアップシステム」の普及促進や権利獲得に向け、目黒労協の仲間と共に、大いに氣勢をあげていきたいと決意した旗開きでした。(東京土建目黒支部/通信員)



* 来賓あいさつする目黒労協議長&執行委

福祉保育労/愛隣会分会

すでに始まっている24春闘、賃金の改悪は許さない!

今年度、法人より、次年度から最低賃金にあわせて、初任給のベースアップの提案がありました。しかしその分の必要額をカバーするため、「現行給与の昇給幅をカットすることで補填する」との提案がありました。

組合として、現役職員の生涯年収が減る不利益な提案だということで、反対の意向です。

ここ何年も組合として活動していませんでしたが、まずは何年振りかの組合ピラを作成し、全職員に現状のことを、まずは知ってもらおうと活動を始めました。1月11日には門前ピラ配布を実施しました。(福祉保育労・愛隣会分会/通信員)



目黒社保協

介護保険料の引き下げを! 署名1000筆を区に提出

介護保険料は3年ごとに改定され、2024年・65才以上の介護保険料は、住んでいる自治体が改訂します。目黒区の現在の保険料は、介護保険が導入された2000年当時と比べ、2倍近くの6,200円。目黒労協も参加する目黒社会保障推進協議会では、今回の改定にあたり、保険料を引き下げよう、12月25日目黒区に要請しました。これに先立ち、11月議会にも「保険料引き下げを求める」陳情を提出しましたが、委員会では不採択となっており、社保協では引き続き運動に取り組んでいます。(目黒社保協)



「自治体キャラバン 2024」目黒区と懇談実施

1月22日(月)の午後1時より約1時間、20回目を迎える東京春闘共闘の「自治体キャラバン」での目黒区との懇談を行いました。全都の各自治体に事前アンケートを依頼し、その回答を得たうえで、各地で懇談する取組みですが、目黒区においては、「コロナ」を理由に2年間面談が出来ず、文書でのやり取りのみで、昨年は目黒区回答に対し労協などより再質問→目黒区より再回答と、取り組んできました。

今回は3年ぶりにリアルの懇談を実施。目黒区側は都合で一人でしたが、東京春闘共闘・全印総連東京、目黒区労連、東京土建目黒支部、目黒労協の合計8名が参加して、目黒区役所内で短時間でしたが懇談を実施しました。会談に先立ち提出しておいた目黒労協などからの「再質問」については、「後日に文書回答」を確認。目黒労協は「目黒からのポイントメモ」(以下抜粋)に基づき、発言・要請しました。(目黒労協/事務局)

<2024年 中心的テーマは 公契約条例関係>

①下限報酬額が東京最賃を下回る結果になってしまった

東京都最賃 2023.10.1～ 1113円(41円引き上げ) 会計年度任用職員 1191円(11月に改訂)
目黒区 公契約条例労働下限報酬額 1110円 → 1113円(最賃額と同額)に11月1日改訂

②公契約下限労働報酬額 の設定目安をどう考えるか?

- ・最低賃金準拠とするなら、10月に毎年改定するのか。翌年を見通し4月から設定するのか
- ・遡及は? 1か月でも最賃以下は認められるのか
- ・適応契約の拡大

③2024年下限労働報酬額

いくらに???

検討過程・審議会で十分審議したのか。審議会開催回数→
審議会議事録など公開を

【各区の「審議会」開催回数/年間】							
	目黒	世田谷	新宿	杉並	江戸川	北区	中野
2020		6回	2回	21~	22~	23~	24~
2021	3回	4回	2回	3回			
2022	2回	5回	3回	3回	2回		
2023	2回	5回	3回	3回	2回	2回	4回
議事	非公開	議事録公開	議事録公開	公開	議事概要公開	議事概要公開	議事概要公開

JMITU 目黒地域支部+めぐろユニオン未組織宣伝



1月22日(月)、夕方の約30分、東横線学芸大学駅で宣伝行動。JMITU 目黒地域支部の例会終了後、めぐろユニオンも協力しての未組織宣伝。「ボーナスゼロは差別です」チラシ配布などを7名で行いました。(目黒労協/事務局)



年末連帯カンパへのご協力、ありがとうございました!

昨年末にて取り組みました『健康問題の点検の意味を兼ね、また労働者の連帯の意思を再確認するための、争議支援・職業病・長期闘病組合員・事件関係者激励の年末連帯カンパ』に、合計82,419円のご協力をいただきました。ご協力いただいた組合・組合員の皆様、大変ありがとうございました。いただいたカンパは、2名の長期闘病組合員、および東京争議団・明乳争議団・国民救援会にお渡ししましたので、報告致します。多くの皆様のご協力、大変ありがとうございました。